

# 網走ほんりゅう教組

第428号  
網走教職員組合  
〒090-0836  
北海道北見市東三輪1丁目83-35  
TEL0157(31)7551  
FAX 0157(31)7559  
ab-ky@forest.ocn.ne.jp  
12月15日

## 新たな評価制度

この評価制度は、学校の教育活動を教員一人ひとりの一年ごとの取り組みを細分化し、管理職が5段階で評価し、賃金・処遇にリンクさせようとする制度です。協力・協働を基礎とする学校現場には全くなじまない制度で、教職員集団の分断を図り、教職員の管理体制を強めようとするものです。

また、これまでの制度では、「D」や「E」の評価は処分を受けたなど「客観性」のあるものでしたが、この制度では、気に入らない教員に対して、恣意的な運用をすることも可能です。面談の回数も増え、管理職は「A：特に優秀」「B：通常より優秀」「C：通常」など、本当に的確に教職員の「能

## 私たちがめざす学校づくりに更なる前進を

平成二十八年四月の改正地方公務員法の施行に伴い、道教委は「学校職員人事評価制度」をスタートさせようとしています。これは、自己目標シートの学校職員評価制度、ボーナスに関わる評価、査定昇給制度の三つを一体化させるものです。

力」や「業績」を判断することが本来に可能なのでしょうか。これまで行われてきた制度の検証はしてきたのでしょうか。これまで「学校職員の資質能力の向上」「教職員の士気向上・組織の活性化」など目標を上げて制度が進められてきましたが、果たして目標は達成されているのでしょうか。

地公法が変わり、制度自体の実施は避けられないのかもしれませんが、それでも、教職員集団として子どもの成長を図っていく学校という場所での個人個人の仕事を評価することができないことは明かです。そのことを、教職員や管理職、教育委員会なども含めて確認していくことで、制度自体を意味のないものにしていくことができるはずはです。

網走教組では、この「学校職員人事評価制度」に対して、「学校作りの申し入れ書」を改めて作り直し、新たな評価制度に対して対抗していきます。

## 第二弾！ミニカードの取り組み

網走教組・戦争反対ミニカードの取組の集約日が近づいています。今回の本部提出日は12月2日です（この日は執行委員会のあと大掃除をして事務所納めです）。12月15日現在で6名の提出となっています。

このミニカードの取組は、「戦争法反対」の意思のためだけでなく、今後の組合活動や日々の教育実践をするため組合員一人一人のパワーを高めるために企画しました。この1年、「特定関連秘保護法」の成立から始まり、「安全関連保障法案」の廃案に向けて署名やデモ、集会参加など外に向けて網走教組ではたくさんの力を使いました。実践や運動を生み出すことと違って、反対する際には大きなエネルギーを使います。個人的な感じ方もよくな気がします。負の感情を浴びてこころも落ちたり疲れちゃいました。みなさんどうですか？

活動を生み出すことで元気になりたい。みんなそれぞれで何かをつくることでパワーを生み出したい。「それぞれの場所でカードの写真を撮る」という小さい活動ですが、「それを全員でやりきった」という大きな活動がこれからの網走教組を支える力になると考えています。残り少ない期間ですが、今後は全員が声を掛け合ったり、支那や反響があれば支那や反響の是非

こんなふうに撮ってね



## まなびバ スキー

とき 2016年1月23日(土)  
ところ びっぶスキー場/旭川市内  
今年度のまなびバスキーは宗谷教組との合同企画。たくさん参加して交流を深めましょう。詳しくは「単組交流・スキーツアー」のチラシをご覧ください！なお、申し込みは網走教組本部にFAXまたはメールでお願いします。

## 今年度の教育全国署名は

全国教育署名の取り組みが最終場面を迎え、各支部の最後の追い込みをかけた取り組みの結果、一〇九八筆の署名が集まりました。これは目標の一〇〇〇筆を超えるもので、何とか達成できてよかったな、という感想を持ちます。

各支部の取り組みとしては、北見支部は先ず、スタート集会を高教組と一緒にいき、更に合同で街頭署名にも取り組みました。昨年よりも実施回数が減ってしまいましたが、実施回数が増えましたが、単独で署名活動を行う場を設けるなど地道に頑張りました。網走支部は活動を設定した日が台風により駄目になるなどのアクシデントがありましたが、個々の組合委員が周囲に訴えて少しずつ数を増やしました。

遠軽・紋別支部は十月に二度署名活動を行うなど早い時期から活発に取り組みました。土曜十時は高教組との合同署名活動日として位置づけ定期的に組み込むスタイルを確立しました。

道退教の先生方にも三百を超す署名を集めていただき、大変助かりました。ただ、反省としては先輩教師に頼らなくても自分達の手で目標を超えることが大切だという意見も出され、次年度の取り組みの課題点となりそうです。

さて、最後になりましたが、旺盛に署名活動を展開した組合員のみならず、本当にお疲れ様でした。